

(第6条関係)

事業計画

	<table border="1"><tr><td>事業名</td><td>協働のまちづくり啓発事業</td></tr><tr><td>団体名</td><td>特定非営利活動法人まつどNPO協議会</td></tr><tr><td>事業担当課</td><td>市民自治課</td></tr></table>	事業名	協働のまちづくり啓発事業	団体名	特定非営利活動法人まつどNPO協議会	事業担当課	市民自治課
事業名	協働のまちづくり啓発事業						
団体名	特定非営利活動法人まつどNPO協議会						
事業担当課	市民自治課						
取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>毎年、協働によるまちづくり推進を目的として、市職員、市民を対象に協働のまちづくり講演会を実施している。しかしながら、年々、市民の参加者が減少しており、また、市民へのアンケート調査結果から、施策の認知度が低く、十分な意識啓発には至っていない。</p> <p>①市民が、地域にある課題やこれを解決するために活動している市民活動の存在を知ること</p> <p>②機会があれば、市民活動をしてみたいと考えるための足がかりになる情報提供 (以上、要項・行政指定部門より再掲)</p> <p>松戸市が実施した平成27年度協働のまちづくり意識調査報告書で、市民1000人弱から得た回答の中で市民活動に参加したことの無い理由を調査している。理由として「きっかけや機会がない」「忙しくて時間がない」という選択肢に続き、「活動に関する情報が得られない」「一緒に活動する仲間がいない」という理由が多く挙がっている。</p> <p>協働のまちづくり講演会は松戸市協働事業として、平成27年度は協働に関する知識・コミュニケーションの重要性を学ぶテーマで開催、平成28年度は2025年の松戸市を考えることをテーマに人口減少時代に行政がどう変わっていくかを協働の視点から考える内容で実施予定である。</p>						
事業の目的	<p>28年度まで協働のまちづくり講演会は、松戸市職員向け(50~100人規模)の研修の枠組みを活かし、市民への啓発や協働の推進を図ってきた。</p> <p>今年度提案では、27年度調査で市民が感じている「活動に関する情報が得られない」「一緒に活動する仲間がいない」という課題に着目し、1年目=協働におけるコミュニケーション、2年目=行政のあり方に続き、3年目として先駆的に市民活動に参加している市民をモデルとして取り上げ「これなら私も参加できそう、取り組めそう」と感じてもらう。当日は、まちづくりにおける市民の活躍への期待、情報提供と合わせた活動のきっかけづくりを組み込んだワークショップを含む、参加行動につながる講演会を実施する。</p>						
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>①「協働のまちづくり講演会」の開催</p> <p>テーマ=「まちづくり、あなたが動けば、仲間が見つかる」(仮)</p> <p>29年度は市民への啓発を主とし、自分のペースで参加できる市民活動があることを知り、体験のきっかけとなる講演会を実施する。</p> <p>【概要】日程=10月下旬~11月初旬・土日開催/定員=およそ100名 場所=松戸駅近辺公共施設/参加費=無料</p> <p>【プログラム(仮)】※講師・パネリストと調整</p> <ul style="list-style-type: none">■「参加して理解する、社会の課題・地域の課題(仮)」講演■「私の市民活動はじめて体験談」パネルトーク						

	<p>登壇者＝市民活動参加市民、NPO 設立経験者</p> <p>■市民活動表彰式（ポスターセッション&プレゼンテーション） ベストプラクティス賞：表彰金 3 万円、チャレンジ賞：表彰金 1 万円とする。ほか、会場最多得票賞、協賛企業による副賞や、広報まつどとの連動を調整する。なお、聖徳大学との共催についても内容について相談の上、継続しての実現を検討する。</p> <p>②「市民活動ポータルサイト」準備 29 年度も、これまでのインタビュー記事に加え、新規に 5 件程度増やし、計 20 件程度をホームページ公開する。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>①協働のまちづくり講演会</td> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>講師・会場</td> <td>ポスター・表彰者調整</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>＝11月講演会開催</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②ポータルサイト準備</td> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>Web 掲載</td> </tr> </table>		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	①協働のまちづくり講演会		←→	←→					×							講師・会場	ポスター・表彰者調整					×	＝11月講演会開催				②ポータルサイト準備		←→	←→																						Web 掲載
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																						
①協働のまちづくり講演会		←→	←→					×																																																										
		講師・会場	ポスター・表彰者調整					×	＝11月講演会開催																																																									
②ポータルサイト準備		←→	←→																																																															
												Web 掲載																																																						
協働の必要性	<p>本事業は行政指定部門の事業であり、市行政が取り組むことへの妥当性・重要性は提案時点で担当課がニーズを感じており、本企画書の課題の項に記載している。加えて、市が「まつど市民大学（仮称）」の設立準備を進めている背景として、市民活動へ参加する市民を増やすという政策課題がある。今回の提案内容のように、まつど NPO 協議会に対して、参加者を巻き込む企画への信頼感・期待を持ち、またまつど NPO 協議会としても本企画に民間としての意見を入れることで、より市民感覚を反映した事業として、協働による効果を狙っている。</p>																																																																	
事業実施の役割分担	<p>本協議会は、企画立案・運営といった「ソフト」面と、市民活動団体が構成する協議会という成り立ちから「市民・NPO のネットワーク」という強みを持っている。市民自治課が持つ、会場手配の「ハード」面と、広報まつどへの掲載、町会・自治会へのアクセスといった「情報インフラ」という強みを活かし、以下の役割分担にて実施する。</p> <p>①団体／まつど NPO 協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 講演会 企画運營業務全般（講師・パネリスト・選考委員調整） ■ 講演会一時保育の手配 ■ 広報等媒体原稿制作 ■ ポスターセッション企画・団体調整等運営 ■ 事業報告書作成 ■ 協働のまちづくり／市民活動インタビュー記事制作 ■ 同インタビュー記事の Web コンテンツ制作・公開 <p>※成果物であるインタビュー記事は共同所有を明らかにして頒布を進める。</p> <p>②担当課／市民自治課</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 協働推進員を中心とした市職員参加呼びかけ ■ 市民参加者の把握 ■ 市民アンケート集計 ■ 会場の検討・確保（公用等手配） ■ 町会への講演会開催情報の発信 ■ 市広報誌「広報まつど」掲載 ■ 市内公共施設を通じた講演会開催情報の発信 ■ 松戸市ホームページ・Twitter・facebook 等、市の広報媒体への掲載 																																																																	

(第6条関係)

事業の予算計画(収支予算書)

【労力換算(限度額算入)】

(単位:円)

区分	科目	金額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 203,000	

【収入】

区分	科目	金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 23,900	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 23,900	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 179,100	
	合計額(D)=(B+C)	¥ 203,000	

【支出】

区分	科目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	講演会講師謝礼、パネリスト謝礼
	報償費(表彰金)	¥ 50,000	ベストプラクティス賞・チャレンジ賞
	報償費(バリアフリー対応)	¥ 32,000	要約筆記(2万)、手話(1.2万) ※松戸市基準
	消耗品費	¥ 10,000	模造紙・付箋紙等会場掲示物作成、コピー用紙等
	食糧費	¥ 5,000	登壇者水代、ワークショップ茶菓子等
	印刷製本費	¥ 22,000	回覧ポスター(4C) 3,000枚、チラシ(4C/4C) 3000枚
	委託料	¥ 20,000	デザイン委託、一時保育
		対象経費の合計(E)	¥ 199,000
(その他経費)	旅費交通費	¥ 3,000	講師打ち合わせ(先方)への移動
	通信運搬費	¥ 1,000	振込手数料等
	その他経費の合計額(F)	¥ 4,000	
	合計額(G)=(E+F)	¥ 203,000	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金(C)が、対象となる経費(E)欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金(C)が、自己資金(B)欄に労力換算額(A)欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位:円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×500円
	担当課打ち合わせ (7回)	14,000 円	2 人 × 2 h × 7 回 × 500 円
	企画打ち合わせ (3回)	27,000 円	6 人 × 3 h × 3 回 × 500 円
	講師打ち合わせ	8,000 円	2 人 × 4 h × 2 回 × 500 円
	パネリスト打ち合わせ	6,000 円	2 人 × 3 h × 2 回 × 500 円
	直前打ち合わせ	4,500 円	3 人 × 3 h × 1 回 × 500 円
	講演会当日	30,000 円	10 人 × 6 h × 1 回 × 500 円
	当日出展関連	18,000 円	12 人 × 3 h × 1 回 × 500 円
	振り返り (担当課) 打ち合わせ	9,000 円	3 人 × 3 h × 2 回 × 500 円
	報告書制作	24,000 円	3 人 × 16 h × 1 回 × 500 円
	団体ヒアリング・原稿起こし	20,000 円	1 人 × 8 h × 5 回 × 500 円
	市民活動団体 インタビュー対応	7,500 円	5 人 × 3 h × 1 回 × 500 円
	拡大企画会議 (1回)	15,000 円	10 人 × 3 h × 1 回 × 500 円
	広報活動	20,000 円	2 人 × 2 h × 10 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
		人 × h × 回 × 500 円	
		人 × h × 回 × 500 円	
		人 × h × 回 × 500 円	
合 計 (A)	203,000 円		